

コハルちゃん

画:ゴハチ



暮らしの中の千夜一話

ご近所に若い夫婦が引っ越してきた。町内会長によれば東京から来たそうで、なんかデザイナーという舌をかみそうな仕事をしているらしい。最近では移住がはやっていると聞いたけれど、こんなさびれた田舎によく来たものだと感心する。2月のよく晴れた日曜日。夫と散歩に出かけると、例の若い夫婦と出くわした。「こんにちは。いいお天気ですね」と先に声をかけられて、その爽やかさになぜかどぎまぎしてしまっ。ダウンジャケットにニット帽と毛糸の手袋。足元はスノーブーツ。身にまとっているものは同じなのに、私たち夫婦とは別世界の登場人物のように見えるのは「都会から来た人」という色メガネのせいだろうか。

そんなことを考えながら世間話をしていくと、夫が急に「梅の季節なのにうちはこんな姥桜（うばざくら）が満開で。わっはっは」と高笑い。場を和ませる冗談のつもりだろうか。私は共犯者の気分で「どうせ私はオバチャンですよ」とすねたふりをしてみたら、若妻が思わぬことを言うではないか。「姥桜って、女盛りを過ぎてても美しさや色気が残っている女性のことをいうんですよ。私もいつかそんなふうにはめてほしいなあ」そう言って若妻は旦那さんに笑顔を向けた。なんて爽やかでなんて伸びやかなんだろう。この2人、私とは明らかに違う「メガネ」を持っている。このさびれた田舎も2人には天国に思えるらしい。だから別世界の住人に見えるのだろうか。別れ際に「また今度」と手を振りながら、私は「新しいメガネ」を見つけたことにワクワクしていた。



ここで解決ッ! 新聞でよく見かけるあの言葉

今月によく見かける言葉:【ISS (国際宇宙ステーション)】

日本・アメリカ・ロシア・カナダ・欧州宇宙機関が協力して運用する上空約400kmに建設された有人実験施設のこと。地球を約90分で1周、1日で約16周しながら実験や研究、天体の観測などを行っている。2020年11月、野口聡一氏を含む宇宙飛行士が搭乗した宇宙船がISSとドッキングし滞在をスタートしている。

雑学! なんでもランキング

国内のお祭り動員数1位は「博多祇園山笠」で約300万人。2位は「青森ねぶた祭」で約276万人、3位は「さっぽろ雪まつり」で約261万人。「日本三大祭り」と称されるものと動員数とは異なります。

株式会社 エルフォルク

〒733-0002

広島市西区楠木町3丁目10-22

TEL: 082-230-8870 FAX: 082-230-8871